

2025年 3月 14日

2024年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 社会福祉法人 昭徳会

ホーム名 自立援助ホーム かりん

代表者・役職名 氏名 平井 誠敏

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

電化製品新調による環境設備事業

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など) 180文字程度まで

名古屋市内において特に女子の就学者の居住先が不足しており、受皿の確保として、平成30年4月1日に主に就学者の女子を対象とした自立援助ホームかりんを開設した。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

かりんでは、入居者の生活習慣を改善する事から始め、最終的に自立生活へと移行できるよう支援に取り組んでいます。毎日使用する家電製品、特に掃除機、電子レンジ、炊飯器、洗濯機は劣化も早く、長期間の使用で標準使用期間も切れる間近でした。いつ破損や怪我をするかも分からぬ状態のため、入居者の安全性を第一に考え、電化製品を新調し快適に過ごせる生活空間を提供できるよう生活環境を整えたいと考えております。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

洗濯機、掃除機、炊飯器、電子レンジの購入を考えております。
洗濯機は現在使用しているものよりも洗濯容量を増やしたもの購入し、洗濯回数を軽減。掃除機は吸引力の強いコード式を1台、入居者への貸出用として軽量で手軽に掃除ができるコードレス掃除機を購入します。電子レンジ・炊飯器は特に劣化が早く、食育の面からもより美味しい食事の提供に繋がると考え、助成金にて購入できればと思います。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

2月3日に電化製品の新調をしました。快適な生活をサポートするため家電の配置を考え、掃除機の収納場所を納戸から廊下に変更したことについても使用できるようにしました。入居者の目に止まり、掃除意欲が高まったと感じます。洗濯機も以前より容量を増やしたことにより洗濯回数の減少や共用場所のカーテン等の洗濯ができ、入居者が快適に過ごせる生活環境を整えることができました。また、電子レンジ・炊飯器を新調したことにより美味しい食事の提供が出来るようになりました、食事中の会話も弾むようになりました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今回のプロジェクトを受けて、施設内の環境設備をする大切さを改めて感じました。電化製品は高額な物だからこそ、多少劣化していても使用できれば大丈夫と思っていた。何かあってからでは遅いため、今後も自立を支援するにふさわしい環境を提供できるように入居者の心に寄り添い、安心して社会に出ていけるよう職員一丸となって支援していきたいです。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、必ず、別途、ご提供ください。

自一.....

